



こさがわちょう

第150号

令和4年7月13日

議会だより

編集発行

和歌山県

古座川町議会

TEL 0735-72-3410

FAX 0735-72-1858



ダムにかかる虹

令和4年6月定例会（6月14日～6月23日）

補正予算 2～4ページ

一般質問に2議員 5～7ページ

議長就任、人事案件など 8ページ

臨時会、編集委員会より 9～10ページ

令和4年度補正予算・人事案件などを審議

古座川町議会は6月定例会を開き、執行部から提案された令和4年度一般会計及び特別会計補正予算案8件、人事関係2件、報告2件、その他1件を審議し、いずれも原案のとおり可決しました。主な議案審議について要約して掲載しています。



ささゆり

一般会計補正予算（第2号） 経済活性化商品券事業補助金など 6億2185万円を可決

歳入

商工使用料

問 今年度大型作業所の使用料が、4万円計上されているが、建物が古くなっており雨漏りがしている。トイレも

答 使えない状態であり浄化槽を設置した場合年間10万円の管理料が必要になってくるが誰が負担するのか。また来年度以降の見通しはどうか。

答 雨漏りについては再度確認をしたい。浄化槽は、新たに設置をするのではなしに修繕をするという意味である。使用料については、生産者団体との話し合いの中で、減額の要請があり、月額4万円とした。

問 町施設を使用する時、無料と有料があるがどうなっているのか。

答 施設を設置する時に地元負担金などを収めていただいているケースもあり、状況により条件は変わってくる。

歳出

民生費

問

後期高齢者等生活支援給付金が1965万円計上されているが、なぜ後期高齢者で線引きをしたのか。

答

国も75歳以上の方を後期高齢者として指定している。

問

BCP業務継続計画策定業務委託料が計上されているが、高瀬会や社会福祉協議会に委託するのか。

答

実際の計画を作るのは、地域包括センターや社会福祉協議会である。



大型作業所

古座川町は、国民年金受給の後期高齢者の方が多数である。このような考えで線引きをした。

計画を作る際に専門業者（コンサル）の参加をしてもらい支援を受けることになる。

※BCP業務継続計画とは、緊急事態が発生した場合でも通常時と同様の事業継続や、事業が停止した場合でも早期に回復できるように計画をすることをさす。

衛生費



コロナワクチン接種の様子

問 予防接種委託料（コロナワクチン接種）が計上されているが、3回目接種した人はどれだけのか。

答 1870人から1880人と見ている。現在でも串本病院でワクチン接種をしているので、少しずつ増える。

問 いる。

答 ワクチンを廃棄したとの報道があるが、古座川町ではどうなっているのか。

答 ワクチンが各自自治体にいきわたっていたので、モデルナ製のワクチンを、420人分保健所と相談のうえで廃棄をした。効果や副作用、安全性については全く問題はない。

いる。

ワクチンを廃棄したとの報道があるが、古座川町ではどうなっているのか。

ワクチンが各自自治体にいきわたっていたので、モデルナ製のワクチンを、420人分保健所と相談のうえで廃棄をした。効果や副作用、安全性については全く問題はない。

消防費



問

コロナ感染防止のために、組み立て式の給水タンクを避難所に設置して、手洗いなどに利用するとあるが、水道から給水するのか。

答

災害時だけではなく、断水した時にも使えるように1000ℓの容量になっているタンクは、飲料水としても使える構造となっている。給水については、給水車を考えている。

教育費

問 学校規模検討委員会報償費が計上されているが、どうしたら児童が増えるのかの検討もおこなうのか。

答 児童、生徒が少なくなったら、当然統合の話が出てくる。その時にどのようにしていくのか調査のための委員会である。

問 どのようにして児童、生徒を増やすかの問題は、古座川町全体の問題であり、この委員会では検討をしない。

答 大学生の生活支援給付金が計上されているが、大学生の実態をどのようにして把握しているのか。また、大学生等とは大学生以外に何を指すのか。

大学生の生活支援給付金が計上されているが、大学生の実態をどのようにして把握しているのか。また、大学生等とは大学生以外に何を指すのか。

答 保護者の皆さんの聞き取りをおこなっている。大学生等とは、専門

問 学校や職業能力開発大学校などを含んでいる。

答 報償費116万9000円が計上されているが、部活動の部外からの支援は、土日祭日に限るのか。

問 平日2日、土日いずれかで1日の週3日を予定している。

答 部活動は教育の一環である。教育的配慮を

平日2日、土日いずれかで1日の週3日を予定している。

答 部活動は教育の一環である。教育的配慮を

問 おこない、技術第一になつてはならないと考えるがどうか。

答 学校の指導方針に従い、顧問の先生から指導員に要請をする。



明神中学校クラブ活動の様子

令和4年度一般会計補正予算 歳出の主なもの

総務費		
財産管理費	浄化槽維持管理手数料	16万円
	庁舎等施設感染症予防対策業務委託料	37万円
	町有地管理委託料	72万円
民生費		
社会福祉総務費	後期高齢者等生活支援給付金	1,960万円
	住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金	600万円
介護保険費	BCP業務継続計画策定支援業務委託料	132万円
児童福祉総務費	子育て世帯生活支援特別給付金	150万円
衛生費		
保健衛生総務費	産婦人科医師確保事業分担金	33万円
予防費	予防接種委託料（1500人予定）	364万円
	新型コロナウイルスワクチン接種関連業務委託料	145万円
	小児・定期予防接種助成	25万円
農林水産業費		
林業振興費	経営管理権集積計画作成業務委託料	111万円
	森林環境譲与税基金積立金	△111万円
商工費		
商工振興費	地域経済活性化商品券事業補助金	5,000万円
消防費		
災害対策費	修繕費（池野山）	40万円
	防災用備品（組立式給水タンク）	298万円
教育費		
教育委員会費	学校規模検討委員（12名×5回）	29万円
事務局費	大学生等生活支援給付金（7万円×50人）	350万円
	子育て世帯応援給付金	495万円
学校管理費	小学校施設感染症予防対策業務委託料	75万円
	部活動指導員謝礼	116万円
	中学校施設感染予防対策業務委託料	50万円

一般質問

みんなの願いを町政に

2議員の質問事項は、次のとおりです

洞 佳和 (6ページ)

- ・町内道路について
- ・林業政策について

大屋 一成 (7ページ)

- ・町長の政治姿勢を問う
- ・職員の配置について
- ・防災強化について
- ・防犯環境整備について
- ・ご当地ナンバープレートの導入について

一般質問とは

一般質問は、議員が町の行財政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針等について説明を求め所信をただす、議員固有の権能として許されているものです。

質問したい議員は、自分の日常活動や考え方にに基づき、町の抱える課題についてあらかじめ質問内容を通じておきます。

質問形式は古座川町議会では、質問回数が3回までと制限されている代わりに時間制限の無い方式と、一問一答で質問回数に制限はないけれども時間が70分と制限されている2つの方式があり、そのどちらかを議員が選ぶことができます。

議案に対する質疑は議題外にわたったり、自分の意見を言うことはできませんが、一般質問は提案したり自分の意見を言うことができます。

なお、議会だよりの原稿は、一人約1260字以内にまとめることになっているため、全ての質問内容が掲載されているとは限りません。

町道の清掃、管理をおこなえ

洞 佳和



ではないか。

町長

利用頻度の高いところについては、できるだけ対応したい。

質問

町道の下露・平井、西川・平井線を調査したところ、54力所で側溝が詰まっていた。

雨が降ると側溝の水があふれ出し、道路が決壊する恐れがある。側溝の清掃の現状はどうなっているのか。

町長

職員のパトロールや住民の方からの通報により、側溝の清掃や舗装の修繕をおこなっている。

質問

台風や大雨の後は落ち葉が道路一面に流れ出しているところもある。きっちりした対策を立てる必要があるのか。

れる原因となる。

規制条例の制定や業者指導をする必要があるのではないか。

町長

作業道の設置により、土砂が道路や川に流れだすのは問題である。作業道の設置は、林野庁のガイドラインに加え和歌山県が指針を制定している。

伐採届の申請の時に業者を指導したい。

質問

山を削って作業道をつける方法では、土砂の流出を防ぐことはできない。

山を守り治山 治水をおこなえ

町内の山林は、いたるところで伐採がおこなわれているが、大半が重機で作業道をつけ搬出をおこなっている。

この方法で木材を搬出すると土砂が道路や川に流れだし、山が荒



町道下露平井線

きない。

古座川町の長期総合計画：森林の持つ多面的機能の持続的発揮に向け：森林の保全育成をすすめます：は実現できない。

地域振興課長

作業道設置を規制する法律はないが、環境へ配慮した作業道設置の方法は、指針やガイドラインでうたわれているので、業者指導をおこないたい。

議員

作業道を設置し重機で木材を搬出する方法から、集材機を使った方法への転換も含めて国や県に要望書を提出していただきたい。

森林環境譲与税を 使って林道整備を

通行止めとなつている林道は、何力所何路線あるのか。

森林環境譲与税を使って林道整備をおこなえないのか。

町長

林道は、32路線中4



三尾川伐採現場

路線が通行止めとなつている。

今年6月の林野庁からの通知に、林道の整備についても例示されている。森林環境譲与税の有効活用に取り組んでいきたい。

質問

今年の森林環境譲与税は、経営の自主管理（経営放棄林の管理）と環境補助（バイオマス発電）にほとんど使われ、地元のためになつていない。

地域振興課長

林野庁の取り組み事例の中に、林道も含ま

町民の皆さんの理解が得られるよう検討する。

野中のつり橋（小川）は森林組合の管理となったが、森林環境譲与税を使って維持補修はできないのか。

地域振興課長

森林組合が補修をした場合、森林環境譲与税を使って何らかの支援を行うことを検討したい。

（この文章は本人がまとめたものです）

町長の政治姿勢を問う

大屋 一成



ビジョンを示せ

町長は政治家として、町の将来についてのビジョンを示し、実現に向けて取り組むことが大切である。

町長が目指している町の将来像についての考えを聞きたい。

町長
就任以来、公正、公



役場庁舎

平な行政の実現を目指し、住民の声や想いに耳を傾けながら、行政に反映することを基本姿勢として、行政全体のバランスを見きわめながら行政運営に努めている。

議員

兵庫県明石市の泉市長は、政治家をやっている以上は理想を形にするのが仕事やと言われている。古座川町の10年先のビジョンがあつて、庁舎移転も含めた全てのことに関して基本構想をつくり、基本計画、実施計画とス

ピード感をもってしていただきたい。

防災強化を図れ

消防団の定数は町条例で150名だが、定数割れとなっている。町職員にも消防団に

入ってもらい活動することが、これから必要なのではないかと。

町長

職員が入り、活動するには現状では、非常に少ない職員数で業務との兼ね合いもあり、今後の課題として検討したい。

質問

近隣の町村を調べると、串本町は5名、那智勝浦町は1名、太地町は39名、北山村は24名が入っている。

町長

職員とも十分協議し、希望者があれば考えてみたいが、いろいろ条件もでてくると思うので、検討課題にさせてもらいたい。

全世帯に消火器を

山間部では、消火栓、防火水槽などが設置さ



住宅用粉末(ABC)消火器

れていない所も多くあり、消防車の到着まで時間がかかるのが現状である。少しでも被害を小さくするため、全世帯に消火器を備える(消火器の購入に半額補助をする)必要があるのではないか。

職員の配置基準は

新規採用職員や職員の配置転換などについて、資格や知識、経験などをいかにすることが町の発展につながる。どの様な基準や考えで、職員の担務を決めているのか。

質問

100%職員の希望に叶うのは無理だと思うが、本人の思いを聞ける場をつくるべきである。私とこの近くの職員も今年3月末で辞めて県職へ入った。今の担務では大学で学んだことをいかすのが難しいと判断したと聞いている。

町長

職員の確保や配置については、行政事務の状況などを見据えながら対応している。人事異動については、職員の経験年数、人間性、専門性などを総合的に判断し配置している。

町長

私が来た時から5年経っているが、私も気がつかなかったことも反省し、これからは対応していきたい。(この文章は本人がまとめたものです)

質問

大きな災害があった時に、国の査定官や県の監督とも対等に話してできる知識と経験がある職員を異動させ、果たして町のプラスになるのか。

副町長

令和3年度の意向調査はしていないが、町長は職員の意向など、いろいろなお話は把握している。適材適所、人事に対応している。

古座川町ふるさとづくり基金の運用状況

事業の種類	令和3年度	
	寄付額(円)	件数(延べ)
古座川の環境保全に関する事業	12,049,000	998
森林整備及び水源かん養に関する事業	4,263,500	363
社会福祉に関する事業	3,828,000	317
教育・文化に関する事業	8,106,500	664
集落の維持活性化に関する事業	1,956,000	178
事業指定なし	14,788,000	1,243
合計	44,991,000	3,763
運用益	4,200	
年度合計	44,995,200	
基金取り崩し	0	
基金累積額合計	17,874,922	

報告

令和3年度古座川町ふるさとづくり基金の運用状況について報告があり、内容は次のとおりです。寄付して頂いた方がたは延べ3763名です。寄付額は44,991,000円

問 令和3年度末における基金の合計額は17,874,922円です。

答 令和4年3月に条例を改正し、年度内に予算の充当を可能としたものである。



を一部改正し、年度内に予算の充当を可能としたものである。

4月28日 第3回臨時会
5月16日 第4回臨時会

第3回臨時会

古座川町条例の一部改正の専決処分について

問

今回の条例改正は全て専決だが、その理由は。

答 地方税法を改正する法律等が令和4年3月31日に公布され、4月1日から施行することに伴い、専決処分をおこなった。

3月議会は3月1日



問

から17日まで開催した。その後4月に入ってしかならなかったのか。その前に臨時議会を開くことはできなかったのか。

答 今回の法律改正の公布日が、令和4年3月31日であり、4月1日から施行する必要があり、時間的余裕がなかったため。

古座川町国民健康保険条例の一部改正の専決処分について

問 地方税法施行令の改正に伴い医療分の賦課限度額を63万円から65万円、後期分の賦課限度額を19万円から20万円に改めるもの。

答 限度額引き上げにより町民の負担が増えるという点か。

問 高所得者の方については負担が増えることになる。

答 専決処分は、住民の利益になるという前提でおこなわれている。今回は住民の利益にならないと考える。

問 地方自治法の逐条解説に、不承認になっても効力に影響は及ぼさないとなっている。

討論

反対

条例改正は議会の承認が必要であるが、特別な事情がある場合には専決処分が認められている。しかし、住民の利益にならないことが明らかになった今回の条例改正には賛成できない。

賛成

地方税法に基づいて町条例も、それに沿った条例改正をするべきである。よって原案に賛成する。

採決

賛成多数で可決

反対

洞佳和

賛成

佃奈津代、瀧口定延、淡佐口幸男、谷孝士、中田善和、大屋一成、檉原貴子

一般会計補正予算の専決処分について

ふるさとづくり寄付金460万円の減額など。

問

他の自治体に関しては返礼品3割、事務経費2割という事例が多いが、当町では返礼品3割、事務経費33パーセントとなっている。もう少し考えていくべき。

答

返礼品は3割以下を守っており、特に問題はないと考えている。今後試行錯誤して、税金を伸ばしていきたいと考えている。

林道と深鶴川線 法面改良工事請負変更契約について

問

3月3日に工期変更している。工期の変更では議会の承認は要らないが、所管の産業建設常任委員長には、今後連絡するようにしていただきたい。

答

今後、工期変更、延長などあった場合は連絡、報告させていたいただく。

第4回臨時会

一般会計補正予算 (第1号)

(第1号)

楠平農道の法面崩落により、崩土の除去、モルタルがらの処分費用が発生。農道維持補修費で、350万円を追加する。

問

楠平の農道に関して大型土嚢を積んで予防

していたが、雨により大きな崩落があった。町道の場合だと国の補助もあるが、林道・農道に関してはどうなるのか。

答

林道・農道ともに今後測量した上、設計し、県の方に協議して、災害の対象になるか話を進めていく。

問

今回の補正予算350万円は、仮復旧の鋼矢板を打ち込むところまでの予算が350万円なのか。

答

予算計上した費用は、法面崩落による崩土の除去、モルタルがらの処分、仮設防護柵の費用である。

議会日誌

《3月》

21日

和歌山県誕生150年記念(和歌山市)

31日

議会便り編集委員会

《4月》

1日

年度初め式

7日

議会便り編集委員会

12日

東牟婁郡町村議会議長会定期総会

(那智勝浦町)

14日

議会便り編集委員会

28日

全員協議会

《5月》

24日

「アクセス道路」早期整備に向けた要望活動

26日

第74回和歌山県町村議会議長会定期総会

(和歌山市)

27日

記念大会(和歌山市)

29日、31日

町村議会議長・副議長研修会

(東京)

お詫びと訂正

前回発行「議会だより149号」中、P3写真、「医師住宅地」とあるが、正しくは「医師住宅予定地」でした。P6支出明細書中、「災害復旧費345万円」とあるが、正しくは「災害復旧費334万円」でした。訂正し、お詫びいたします。



林道と深鶴川線

編集委員会より

今定例会において補正予算が上程され、古座川町地方創生臨時交付金関連事業を含む全議案が原案のとおり可決されました。

新型コロナウイルス感染症が地域経済に大きな影響を与えています。

ウイルス感染が終息するには7割の方が抗体を持つ事が必要だそうです。又、治療薬が出来ればインフルエンザと同様な疾患になるとも言われています。

緊急事態宣言は解除されましたが、全てを元に戻して良いとは言われていません。

感染を拡大させないため、基本的な感染防止策(必要な場所でのマスク着用、手洗い、三密の回避など)の徹底に努める日々がまだまだ続きそうです。

編集委員会委員として選任されました。よろしくお願致します。

(淡佐口 幸男)